

# ★夜間学校★ 第29回(復縁)★

## テーマ「運営委員会 4.16」

### 「これからの夜間学校」

# 今夜マ時は、「希望の家」「借いして夜間学校をしてみんなのため」

昨年(15日)20日から始めた「夜間(金ヶ崎夜間学校)も、早いもので、あと一ヶ月すこして一年を迎えようとしています。月一回が二回になり、今年一月からは毎週木曜日に開くようになりました。非常に遅い歩みながらも、自分達が抱えている問題を自分達で解決していく力を身につけていくという主旨が少しずつみんなに理解され、参加する仲間も増えていき、夜間学校も定着したとの感があります。

いろいろな話し合いや学習は、自分達が身近に感じている問題、また切実な問題をなれば、しんどいばかりで役に立たない、おもしろいものもありません。

そのため「夜間学校は、労働者の仲間の参加によって運営していく」と考え、現実にはまだ出来ていません。

### 夜間(金ヶ崎夜間学校)とは――

我々が金ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰かがいつかは悩んでいる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の回復等を皆の力で解決していく。又、運営にも積極的に参加してMTA。

為に、先生と生徒の関係は多く、皆が生徒で先生でもあると言った等々関係の中で、互いの知識と経験を通して考え学び合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。

又、運営にも積極的に参加してMTA。

### 今日の予定

- 4月16日(木) 運営委員会(誰かもOK)
- 4月23日(木) 労働者ミーティング
- 4月30日(木) ミーデー前夜祭に合流

※ 5月上旬には、ピクニックを

計画しています。お楽しみに!

しかし、最近では、いろいろなテーマで話しあおう、いろいろなことをしよう、その声があがるようになって、その声はよくなっていく、またこの感じが女の間です。

そしてこれからは、さらに発展させるために毎日運営委員会を開いて、今後どう進めようか、何を内容とするのかをみんなが話し合いたいと思います。

運営委員会といっても委員がいるわけではなく、今まで運営に参加してきた人も、ただ参加するだけだった人も対等の立場で、今日は話し合いたいと思います。おもしろい意見が出されることを望みます。

# (仮称)釜ヶ崎 夜間学校 ニュース

## 「市更相を考える」 才28回 報告 テーマ

### 4/9 市更相へ行ったら

### めいっぱい低くなつてなまきやさん

一九七一年(昭和四六年)に、愛隣会館と中央更生相談所を統合して、大阪市立更生相談所(市更相)が発足しました。

一日平均七三人の人が相談に行っています。相談内容は、ほとんどが、病気なので入院したい、ということですが、しかし、相談に行つたうちの三十パーセントが、何度か入退院を繰り返しているから紹介できない。

いなかへ帰って療養せよ、等の理由で却下されています。参加者から、「俺の友だちも、結核で二月に市更相へ相談に行つたが受けつけられなかった。六〇才にもなるし、身うちもない」という言葉もありました。先日新聞にあつたように、市更相で却下されて、次第に病状が悪化し、七くなつた人のようなこと

が決してないように対応の仕方を変えてほしいと願っています。

大阪市の医療扶助の一割が、釜ヶ崎に用いられています。それなのに、「なんでも病気がこんなに多いのか」という疑問があります。釜ヶ崎の場合、働く意欲がないんだとして、わずかし

か、生活保護費がでないのも問題があります。いったい、医療扶助費は、どこへいつていくのか!

「病院は儲けるために入院させるのか、助けるために、入院させるのか!」

椎骨神経痛で、ある病院へ入院していたAさんは、その病院の院長が、患者を部屋につれて

いってなぐる、ということを知

きました。そのような暴力病院からトニコするのは当然です。トニコして来て、今度、他の病院に入院したい、と思つて市更相に行つても、頭ごなしにどなられ、却下されたら、どうしたらいいのだろう。

「患者を救わなければ、今にどうなるかわからない」というAさんの叫びを、みんなが大切にしていこう!

みんながつくるみんなのひろば  
「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」  
運営委員会準備会

西成区萩之茶屋2-18-18  
釜ヶ崎・喜望の家内

電話・(06)6471-3946  
(毎週木曜日夜7時~10時の間に)

